

主な事業

～町の展開を探る～

厳しい財政運営が叫ばれるなか、平成21年度予定されています主なものを取り上げ、事業などの概要についてお知らせします。

アスベスト対策改修工事 7108万円

アスベスト対策として、次の3施設の天井のアスベスト除去工事が行われます。

- ① 永野小学校音楽室
- ② 薩摩中学校普通教室等
- ③ 文化センターホール及び本館



宮之城文化センター

公民会無線放送施設整備補助金 2200万円

有線放送の場合は、高齢化等により施設の管理が困難なことや台風等で線が切断すると情報伝達が出来なくなることから、町では平成18年度から重点的に無線放送施設整備に対する補助金を交付しています。

平成21年度においても申請のあった公民会に対し補助を行います。



戸別受信機

消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正について

今回の改正は、町消防団員の報酬額をこれまでの年額「35900円」から「36500円」に改めるものです。

近隣の市町が42000円程度となっている状況であることから、消防団の組織再編を予定して

いる平成23年4月頃までには、近隣市町と同程度の増額を予定しています。

消防タンク車更新 4500万円

緊急消防援助隊に対応するタンク車として、今回消防本部に配備されるものです。

装置は、全てをオールシャッター式とし、特徴としては高圧の噴霧装置が装備されており、100㍔の範囲まで延長し、20㍔程放水が可能です。

その他火災や林野火災等、水利がない所での活動が可能となります。



さつま町消防本部

電話催告システム 165万円

これまで、未納者に対しては、納期後において督促状をその都度発送していましたが、なかなか反応がない状態等がありました。

入督促文を在宅している日曜日等を狙って一斉に電話をかけるもので、その日については、職員を待機させ、滞納者からの問い合わせに対応するものです。

今回、新たな収納率向上対策として、電話催告システムを導入することになりました。

今回の電話催告システムは、事前に録音した納